

# 紙ふうせん

KAMIFUSEN NO.55

成田市立図書館だより 第55号 2003年（平成15年）8月31日発行

編集 成田市立図書館 〒286-0017 成田市赤坂1-1-3 ☎ 0476-27-4646

FAX 0476-27-4641

<http://www.library.narita.chiba.jp>



絵本といっしょに

大きくなあ〜れ





# 赤ちゃんも絵本が大好き特集

赤ちゃんは毎日少しずつ、大きくなります。みる・きく・さわる・なめる…ちいさなからだを、いっぱい使って、自分の世界を広げていきます。

図書館では、「ことば」を話すまでの赤ちゃんに、パパやママとの絵本の時間を楽しんでほしいと思っています。絵本は、赤ちゃんの遊び道具のひとつです。気負わず、遊んでみてください。パパやママの抱っこぬくもりと、優しい語りかけのことばが、赤ちゃんの「ことば」と「こころ」を育ててくれることでしょう。

## のりもの絵本の楽しみ方



自動車や電車の色や音、スピードはとても魅力的です。乗るのはもちろん、見ているだけでも楽しいですね。おひざの上で揺らしてあげると、乗っている気分は何倍も楽しくなります。

### 『ぶーぶーじどうしゃ』 山本忠敬 福音館書店

パトカーやゴミ収集車、路線バス。白い背景がすっきりとして絵に集中できます。厚紙なので壊れにくく、気に入った車を何度でも、めくって楽しめます。さあ、発車しますよ。



#### 〈先輩ママより〉

どれを見ても「ぶーぶー」でしたが、何度も何度も読みました。絵をみながら、出かけた時のおはなしをしたり、本物の消防車を見に行ったりしました。今でも、読むのは乗り物の本ばかりで、私まで電車の名前にくわしくなりました。

## たべもの絵本の楽しみ方



大きくなるには、かかすことのできないものです。ごはんも絵本も、たくさん味わってほしいですね。絵本で楽しむと、ごはんの時間も楽しくなります。あせらずに、ゆっくりと、好みでなければ違うものを試してみましょう。

### 『くだもの』 平山和子 福音館書店

実物大のまるのままのくだものが、そっくりりに描かれています。食べやすくカットされた絵は、本当においしそう。「どうぞ」と言葉をそえて、遊んでみましょう。



#### 〈先輩ママより〉

離乳食を始めた頃だったので、「これはまだ食べてない」と反省したのをおぼえています。おいしそうに食べるまねをしたときは、夫婦で感動しました。上の子も下の子も、いちごのページに、本物をはさんでしまったので、何回も買い直しました。



## いきもの絵本の楽しみ方

小鳥や虫など、小さくても命のあるものと出会うことは、とても大切なことです。ちょっと苦手だなあというママだって、絵本の中なら楽しく出会えるのではないのでしょうか。いきものとの楽しい出会いは、生きる喜びや、人との関わりの、小さな始まりとなるでしょう。

### 『どうぶつのおやこ』 藪内正幸 福音館書店

仲の良い動物の親子が描かれた、字のない絵本です。はじめは「ニャーニャー」などと名前を教えてあげましょう。動物のこどもがかわいらしくて、ついつい、うちの子に見えてきますよ。



#### 〈先輩ママより〉

いつも何か言いたそうな顔で、絵を指さしていました。どんなふうを読むのか、わからなかったのですが、めくって遊んでいました。初めて行った動物園では、絵本で知っていたので、「ぞうさん！きりんさん！」と喜んでいました。

### 『ぴよぴよぴよ』 平野剛 福音館書店

シンプルだけれど奥の深いお話です。文字の色の違いもよく見てくださいね。「いたいいたい」「にげろにげろ」などと自分流にお話をしましょう。ひよこも子ネコも、ママのそばが大好きです。



#### 〈先輩ママより〉

ぴよぴよだけで、つまらないと思っていたけど、声をだして読むと楽しくて、子どもは、きゃっきゃっと笑います。茶色のひよこがかわいくて、お気に入りです。

## せいかつ・あそび絵本の楽しみ方

眠る、遊ぶなど、赤ちゃんがよく知っている普段の生活から、お話の世界が広がります。あいさつやあそび方を楽しみながら、言葉を聞くことの心地よさをおぼえます。絵本は、しつけのための勉強道具ではありません。親子で遊びましょうね。

### 『おつきさまこんばんは』 林明子 福音館書店

おつきさまの輝きが、美しい絵本です。黒い雲が、おつきさまのかわいなお顔を隠してしまいます。赤ちゃんは、どんな顔をするでしょう？夜空のおつきさまも、一緒に見てみましょう。



#### 〈先輩ママより〉

雲の絵がでてくると、指でゴシゴシ消そうとしていました。おつきさまの「べえ〜」という顔が好きで、絵本を見るたびに真似をしていました。ベランダで、一緒におつきさまを見上げてた頃は、かわいかったなあ…。赤ちゃんの頃のおいとか、抱っこした腕の重みとか、この絵本を見ると思い出します。



## よく寄せられる質問にお答えします

Q. どんな絵本を選んだらいいのですか？

A. たくさんある絵本の中から、ピッタリの本を選ぶのはとても難しいことです。ひとりひとり、個性や環境、経験も違います。「赤ちゃんのよろこびそうなもの」をためてみましょう。日常生活（見たり、食べたりしたことのあるもの）がテーマだとわかりやすく、絵本の中の言葉が、聞いていて心地のよいもの、また、読んでいるほうも楽しくなるものが向いています。図書館の『はじめてであう本』コーナーを利用するのも良いですね。もし、手ばなしたくないほどのお気に入りに出会ったら、購入してあげてはどうでしょう。

Q. どんなふうに読んだらいいの？本を読むのが、あまり得意ではないのだけれど…

A. 声を変えたり、演技をしたりする必要はありません。いつもより、少しゆったりと語りかけるだけでいいのです。

赤ちゃんが聞きたいのは、聞きなれた大好きな人の優しい声です。語りかけられることで、自分が愛されていること、守られていることをからだで感じます。ママやパパも愛しさが増して、絆が深まるのではないのでしょうか。



Q. 絵本を見せても興味をしめしません。

読んでいる途中に、次々めくってしまいます。

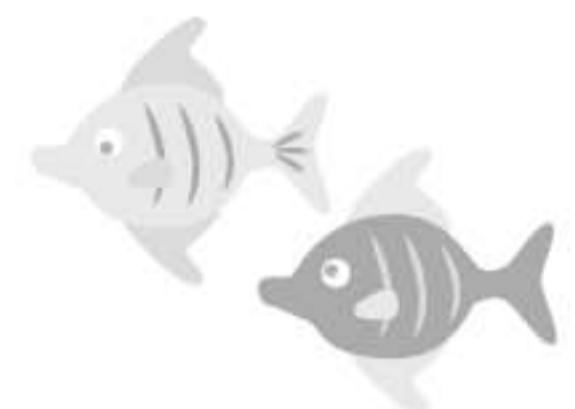
A. 無理に読ませる必要はありません。赤ちゃんは絵本の内容だけではなく、絵本の時間を楽しんでいるのです。めくることに興味があるのなら、赤ちゃんの気がすむまで、めくらせてあげましょう。ページをめくるうちに「ワンワンいた！」などと少しおおげさに喜んでみせると、きっと真似をするようになります。「絵本がそばにあるときは、楽しい時間だよ」という雰囲気づくりをしましょう。

赤ちゃんの絵本について、ご質問やご相談がありましたら、「本の相談コーナー」へいつでもお気軽にお尋ねください。

### 編集後記

育児や家庭教育の本の中に、「本を読むと落ち着きのある子になる」とか、「読書で賢い子に育つ」などという言葉を見つけることがあります。…そうとは限らないことは、私たちが実証済みなのですが、本を読む習慣は小さい頃から身に付けたいものです。大切なことは、本を読む楽しさを教えてあげることです。それには、まず身近にいる大人が、読書を楽しみましょう。

赤ちゃんを連れてのお出かけは、大変ですよ。でも…図書館に遊びにきてください。たくさん絵本と、お友だちが待っていますよ！そして、赤ちゃんのお気に入りの本を見つけてください。それは、記念すべきファースト・ブックです。



成田市立図書館だより	
発行	成田市
編集	成田市立図書館
	〒286-0017 成田市赤坂1-1-3
	☎ 0476-27-4646
発行日	2003.8.31
登録番号	成教図03-022